

台風直撃を受けたと思われるT.Aさんのことを、みなさんもきっと心配していらしたと思います。無事の便り(メール)をいただきました。これからもお便りいただこうと思い、勝手に「崎戸島便り」と名付け番号を付けました。

## 崎戸島便り 1

送別会、そして最後のわがままでソロまでやらしてもらいありがとうございました。

9月17日新住所に引っ越しました。その日は台風が直撃しそうだと言うことで、日通が連絡もせず約束の9時より1時間早くやってきました。隣の民宿に泊まっていて朝食を食べていたら、女将さんが「トラックきたよ。」と。あわてて外に出たら、トラック3台(出るときは2台)とワゴン車が来てました。総勢8人もきて、あっという間に運び込み、10時には引き上げていきました。確かに、10時過ぎには大島大橋が通行止めになりそうだという放送がありました。

終了したとたん雨が降り出してきて、大急ぎで15分車で走って中規模スーパーに食料を買い込みに行きました。さすがに、島の人たちで台風の準備をちゃんとするので、普段とは違って混雑していました。みんな弁当をたくさん買っており、店の方も次々と作って出していました。

そして、予想通り昼過ぎからは家を一歩も出られない状態で、閉め切った家の中でエアコン未設定の中、汗だくでとり

あえずのものの荷ほどきをしながら、その合間の休憩の時に窓の外を見たら雨が見たこともない早さで横っ飛びに流れていました。テレビのアンテナ線が断線しているようでニュースを見ることもできず、どこに台風がいるのかは情報がなかったのですが、真上を通ったなと思っていたら、翌日のニュースを見たら、ご丁寧に少し方向をかえて、ほんとに上を通ってくれたようです。この場所は狭い海峡のすぐそばにあって、いつも風が吹いているところなので、たぶん佐世保(風速42m)より強かったと思います。それでも、ご近所を含めてたいした被害がなく、翌日のうろこ



雲の夕焼けには感動しました。

まだまだ、段ボール箱との格闘が続いて、ようやく半分くらいになったかなあという状態です。ADSLの開通にも手間取り、やっと3日前にインターネットができるようになりました。余裕がなくて、ちゃんとした写真が撮れていませんが、毎日海を見て(直線で20m歩いて)撮ったものを送ります。

夜は、毎日天の川を眺め、たくさんの虫の声を聴き、リゾートしています。是非にもこちらにきて下さい。どうして帰ったのかご理解いただけたと思います。

追伸/山と草むらの写真の三角の屋根が少し写っているところが我が家です。(A.T)

